

## 龍谷大学×大阪ガス都市開発、産学共創ワークショップを開催

大阪ガス都市開発では、オープンイノベーションによる課題解決や新たな価値創造を推進しています。今回は、3月初旬に開催した龍谷大学さまとの産学共創ワークショップの様子をお届けします。



「共創HUB京都」(京都市下京区下之町)コンソーシアムメンバーである龍谷大学さまと、当社におけるビジネスモデルや商品企画についてのアイデア創出につなげるとともに、学生と企業を繋ぎ、学生のキャリア形成に寄与する機会を目指した今回のワークショップ。

龍谷大学政策学部の阿部ゼミナール・石原ゼミナールの学生が参加し、「仮想事業地における土地活用」をテーマにグループワークを実施、学生4～5名と当社社員1名のチームを3つ編成し、実際の都市開発プロセスに沿ってアイデア創出に取り組みました。

### ◇グループワーク◇

オープニングセッション、ガイダンスを経て、3チームに分かれ、約3時間のワークを実施。当社が設定した仮想事業地に、実際の都市開発プロセスに沿って活用を検討しました。検討後のプレゼンに向けた提案資料作りにも取り組みました。



ファシリテーター近藤令子氏によるオープニングセッション



当社社員によるガイダンス



グループでのアイデア出し



### ◇発表・講評◇

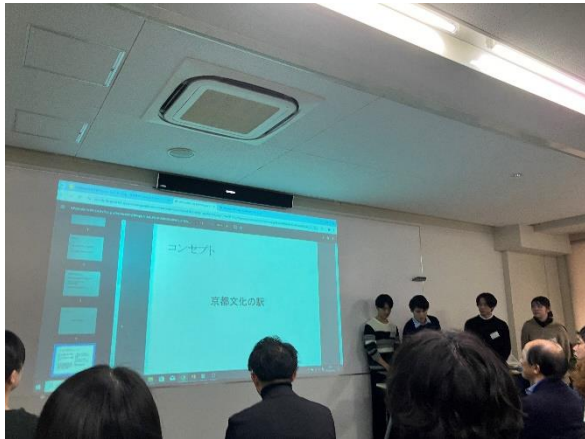
グループワーク後の発表では、各チームから独自の視点を活かした提案が行われました。3班とも若年層をターゲットとした施設、「定住」「滞留」と言ったキーワードが中心でしたが、コンセプトや建物用途についてはそれぞれ個性のある内容となりました。また、発表後には、龍谷大学さまと当社社員による講評を行いました。



A班「愛はあるか？パーク～京都に住みたくなる価値の提供～」



B班「あたらなモデルケース よびみずについて」



C班「京都文化の駅」



先生による講評

◇座談会◇

ワークショップ終了後には座談会を実施し、学生と当社社員が交流しました。学生からは「貴重な話が聞けた」「社会人のリアルな声を聞いてよかった」といった感想が寄せられました。



ワークショップの緊張感から解放され、和やかな雰囲気で行った座談会

◇まとめ◇

開催後のアンケートでは、参加者の満足度は高く、回答者全員が「また参加したい」と回答しました。「課題解決力」「調整力」「実現可能性を考える力」が身についたとの声も多く、学生のみなさんにとって新たな視点を学ぶ機会となったことと思います。また、当社社員にとっても、学生の「リアルな声」から新たな気づきを得られることが出来ました。



大阪ガス都市開発では、今後も産学連携を通じて、学生の学びと企業の成長に貢献する機会を創出していきます。

最後になりますが、本ワークショップにご参加いただいた皆さま、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。